

高山さん「ソチの次」へ闘志

シドニー五輪女子ソフトボールの銀メダリスト
高山樹里さん(三三)〓刈谷市〓が、冬季競技のスケ
ルトンで現役選手を続けている。二月に開幕する

ソチ五輪を目標にしてきたが、出場の望みは絶た
れた。それでも夢をあきらめず、「その次」へと
闘志を燃やす。
(岡村淳司)

スケルトン五輪挑戦あきらめず

高山さんはソフトでアトラ
クタ、シドニー、アテネ五輪
に出場。主戦投手として日本
をメダルに導いた。しかし、
チーム若返りで二〇〇八年の
北京五輪の代表は落選。高い
身体能力が生かせるボブスレ
ーで一〇年のバンクーバー冬
季五輪出場の好機を得たが、
土壇場で逃した。以後スケル
トンに転向し、四度目の五輪
を目指してきた。

一・リュージュパークで毎日
三〜五本滑るのが日課。コー
チはおらず、自分で映像をチ
ェックして欠点を直す。「経
験不足だから体で覚えな
い」と。どの選手よりも多く滑っ
てるはず」と胸を張る。

初めて臨んだスケルトンの
全日本選手権は最下位だった
が、今では上位を狙えるまで
に。しかし、満を持して臨ん
だ昨年末の同大会は、五位と
振るわなかった。

高山さんは豊田自動織機で
働きながら冬の二カ月間、長
野市に移り住み、市ボブスレ

三十代後半の年齢は選手に
とって大きなハンディ。高山

さんが憧れるスピードスケー
トの岡崎朋美選手(四三)も今季
で引退を表明したが、高山さ
んは「これで終われない」と
話す。

元女子ソフト日本代表監督
で、国際ソフトボール連盟副
会長の宇津木妙子さん(六〇)は

「北京五輪に出られず、完全
燃焼できなかった思いがある
のでは」と高山さんの心中を
察する。「彼女は負けん気が
強い、根っからのアスリー
る。

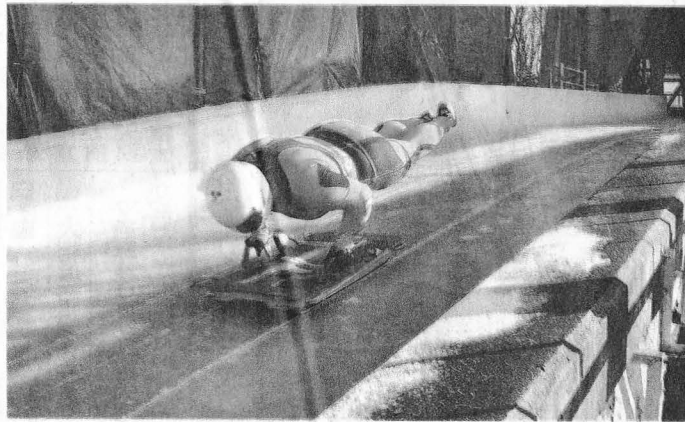
ト。競技で大切なのは年齢で
なくやる気。いつも応援して
いるので、悔いのない競技人
生を送ってほしい」とエール
を送る。

一八年の韓国・平昌冬季五
輪が開かれるころ、高山さん
は四十歳を超える。壁はさら
に高くなるが、夢に向かう気
持ちは衰えない。「周囲は
『まだ続けるのか』ってあき
れると思う。でも、目標がある
から私は私でいられる」と前
を向く姿勢に変わりはな
い。

ソチ五輪開幕まで二十日余
りとなった。大舞台に立つ選
手らに高山さんは「楽しんで
で。そして後悔のないように
頑張ってほしい」と願ってい



⑤スケルトンへの意気込みを語る高山さん ⑥熱心にスケルトンの練習に打ち込む高山さん いずれも長野市ボブスレー・リュージュパークで



スケルトン 鉄製のそりで氷上のコースを
滑走してタイムを競う。リュージュと似てい
るが、頭を後ろにしておおむけになるリュージュ
に対し、スケルトンは頭を前にして腹ばいになる
のが特徴。かじやブレーキはなく、膝や肩でそり
をしならせて操作する。スタート時の瞬発力が求
められ、最高時速は120*に達する。